

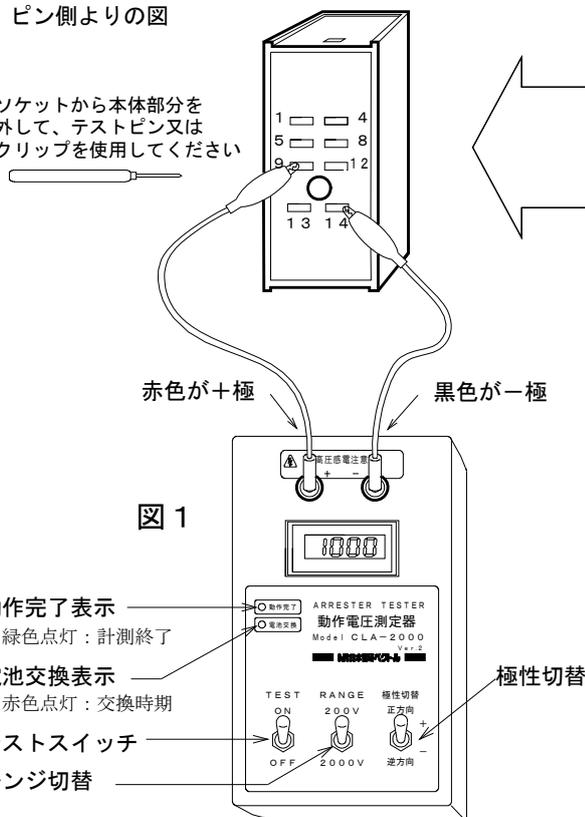
避雷器本体内部素子の点検方法は動作開始電圧（素子に1mAを流したときの電圧）を測定して判断します。

●端子配列と結線図

本体部

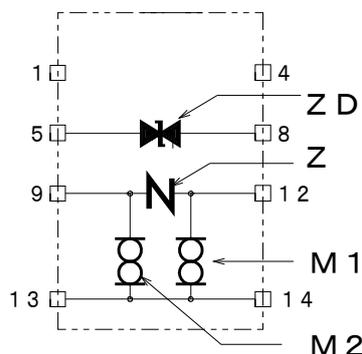
ピン側よりの図

ソケットから本体部分を外して、テストピン又はクリップを使用してください



本体部

ピン側よりの図



点検をおこなう前に・・・ご注意

- ① 接続ケーブルを切り離して行ってください。
またはケーブル直結用アダプターをご用意ください。
- ② 感電にご注意ください。
TESTスイッチONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ③ 新品交換待ちの場合
劣化であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。
- ④ 試験回数につきまして
直流による方式に付2～3回程度で終了してください。
劣化の原因になることもあります。

チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000は、1mA以下の電流制限つきです。制限を超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。数値はTESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●素子の良否判定方法

- ① チェッカーCLA-2000を図1のように接続します。
- ② 測定する素子（ZやD）の動作電圧に合わせてRANGE（レンジ）を切り換えてください。
- ③ TESTスイッチをONに投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外の場合は、劣化（不良）と判定します。

<NRR-48避雷器>

各素子	測定端子	端子番号 + -	印加電圧 (レンジ)	確認内容	備考
※ ZD	D1-D2間	8-5	DC200V	DC90～110V の範囲内であること	逆方向も確認してください。
ZnO	L1-L2間	12-9	DC200V	DC75～91V の範囲内であること	
M1	L1-E 間	12-14	DC2000V	DC350～850V の範囲内であること	300V以下は交換要
M2	L2-E 間	9-14	DC2000V	DC350～850V の範囲内であること	300V以下は交換要

※接続を変えずに極性切替スイッチを逆方向にする。